

# SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう



**2017年**  
**4月号**



## 目次

- ☆認定特定非営利活動法人「風の子会」  
29年度賛助会ご加入のお願い  
..... 2
- ☆28年度賛助会費・寄付の結果報告  
☆寄付のお礼..... 3
- ☆年間スケジュール..... 4
- ☆ボランティア募集  
☆風〇〇サスペンス劇場（田中新連載）  
..... 5
- ☆バリアフリーよもやま話（岡本連載）  
第58回「点字新聞」..... 6
- ☆虫めがね～今一番買いたいもの～  
..... 7
- ☆Ryo'sエニグマルーム..... 8
- ☆夕会便り・活動報告 ..... 9
- ☆恵司のつぶやき ..... 10
- ☆クイズの答え..... 11
- ☆メンバーのつぶやき..... 12



# 認定特定非営利活動法人「風の子会」 29年度賛助会ご加入のお願い

日頃、風の子会の活動にご理解、ご支援を頂きありがとうございます。おかげさまで風の子会は、「一人ぼっちな障害者をなくそう」のスローガンのもと、活発な活動を続けております。皆様には心より感謝申し上げます。

会報でもお知らせしましたが、ようやく移転先を見つけることができ、当会としても大きな一歩を踏み出すことが出来ました。しかしながら改修費用、引っ越し費用など、今後も多大な出費を強いられることとなります。これに備え、できるだけ資金を蓄えておくために賛助会会員の大幅な増加をお願いしたいと考えております。

つきましては、現在の賛助会会員の方には引き続き賛助会にご加入いただけますようお願いいたします。また、お知り合いの方に新規の賛助会会員としてぜひお誘いいただけますよう、よろしくようお願いいたします。

ご加入いただけます方は、同封の振込用紙をご利用いただくか、下記口座へのお振込をお願いいたします。賛助会会員の方には風の子会の機関誌「風の子便り」をお送りし、会の活動をご報告いたします。

当会は認定NPOの認定を受けています。これは風の子会に寄付(賛助会費も寄付となります)をして下さった方が、その分の税金の控除を受けられる、ということです。お渡しする認定NPOの領収書は、確定申告のときに税務署に提出していただく必要がありますので、税金の控除を受けられる方は大切に保存しておいて下さい。

※行き違いで賛助会費をすでに下さった方には二重のお知らせになってしまい申し訳ありません。

賛助会費： 年間一口3,000円以上お願いできれば幸いです。  
郵便振込先： 「風の子会」 口座番号 00150-2-170884

銀行ご利用の方は、下記口座へお願いします。

銀行名： 三井住友銀行 三田通り支店（店番号623）  
口座名： 特定非営利活動法人 風の子会賛助会  
口座番号： 普通 6864494  
問い合わせ先： 風の子会職員 岡本裕介（03-3474-9674）

平成29年4月

特定非営利活動法人 風の子会  
会長 花田 政國

## 28年度賛助会費・寄付の結果報告

平成28年度の賛助会及び寄付のお願い（受付期間は平成28年4月1日～平成29年3月31日末まで）に対しまして、たくさんの皆さまからのご支援をいただきありがとうございます。平成28年度の賛助会費及び寄付の結果は、下記のようにになりました。

これからも風の子会をよろしく願いいたします。

ご賛同くださった方	97名
賛助会及び寄付の総額	4,042,465円



ご協力  
ありがとう  
ございました！！

## 寄付のお礼

～賛助会・寄付にご賛同して下さった方～

小野塚 航 様、 田中 あけみ 様、 園部 裕千 様  
波多野 栄子 様、 羽鳥 貞子 様、 渡辺 三恵子 様

# 年間スケジュール

いつもお世話になっております。風の子会の2017年年間スケジュールが決まりましたのでお知らせいたします。今年も色々とお手伝いをお願いすると思いますが、よろしくお願ひいたします。

## 2017 風の子会年間スケジュール

4月	19日（水）	イチゴ狩り
5月		
6月	10日（土）	総 会
7月	1日（土）	歌と踊りの集い
8月	上旬	暑気払い
	上旬	健康診断
	10日（木）～14日（月）	夏休み
9月		
10月	7日（土）	区民まつり（代休有り）
	8日（日）	区民まつり（代休有り）
	下旬	ヒューマンぷらざまつり（代休有り）
	中旬	インフルエンザ予防接種
11月	上旬	インフルエンザ予防接種
12月	上旬	クリスマス会
	28日（木）	冬休み
2018年1月	4日（木）	冬休み

※休日・・・木曜日、日曜日、祝日

※クラブ活動・・・月の最終土曜日

※今年の外に出ようと一泊旅行は風の子会の都合により中止となりました。



# クラブボランティア募集

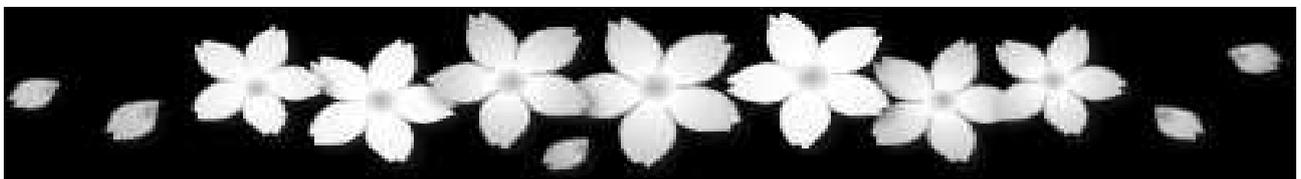
風の子会では、毎月最終土曜日にクラブ活動を行っています。  
運動部、料理部、手芸部、読書部などメンバーそれぞれがやりたい活動をしています。  
そこで一緒に活動に参加してくれるボランティアさんを募集します。  
メンバーと一緒にクラブ活動に参加してみませんか？  
詳細は風の子会までお問い合わせください。  
次回のクラブ活動は5月27日（土）13時からの予定です！  
皆様のご参加お待ちしております！

風の子会メンバー一同  
TEL：03-3474-9674  
MAIL：kazenokokai@gmail.com



よろしくお願ひします！

初心者の方も大歓迎！  
お待ちしております！



SATOSHI TANAKA

時は20××年△月☆日(○)、ある日の朝、一台の福祉車両が田西君のマンションへ迎えに来て、神田に住む小野山さんの自宅へ行く。その田西君のマンションの方から、小野山さんの自宅に行く途中に大通りがある。その日は天候も良く、春の風が吹いて心地良いと思いい車窓を見ていると、一人の二十代前半の女性が見ているのを田西君が目撃をした。その福祉車両の運転手、秋川さんも目撃をして119番通報をした。

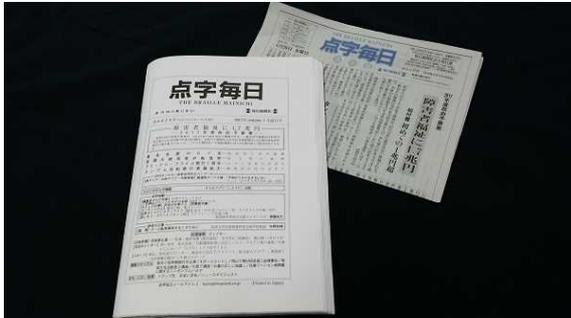
※これは、フィクションです。実話ではありません。

新連載  
風〇〇サスペンス劇場

## バリアフリーよもやま話 第58回 「点字新聞」

岡本 明

新聞といえば紙にインクで印刷されたものが一般的です。しかし目が見えない人や、見えるけれど文字を読み取ることが困難な人（ディスレクシア、識字障害、読字障害などとも呼びます）の人は印刷されたものを読むことができません。これらの人にも新聞の情報を提供するために、点字の新聞や音声ニュースなどがあります。



今回は点字新聞についてお話しします。

一般に発刊されている紙の新聞は「毎日新聞」、「朝日新聞」、「読売新聞」などの大手のものから、地方新聞、業界紙などたくさんありますが、点字の新聞は毎日新聞社が発行する週刊の「点字毎日」1紙があるだけです。「点字毎日」は、毎週日曜発行で、A4判60ページです。点字版と墨字版（点字に対してインクなどで書いた文字を墨字と言います）があります。写真の手前のものが点字版ですが、点字版も1ページ目には墨字があります。2ページ目以降は点字だけで、3、4cmの厚さになっています。

日本最初の点字新聞は、神戸訓盲院（現 兵庫県立視覚特別支援学校）の設立者の左近允孝之進さん（1870-1909）が創刊した「あけぼの」という新聞です（「さこんじょう こうのしん」と読むのだそうです。珍しいお名前ですね）。左近允さんは白内障で全盲となったとき、視覚障害のある人たちは文字を持たないために一般社会から排除されていて、教養が低い状態にあるのを痛感したということです。その後1890年に制定された日本点字に出会った左近允さんは、点字新聞の発刊を決意し、1906（明治39）年1月1日に「あけぼの」を創刊しました。「あけぼの」の創刊号は長い間不明だったのですが、研究者によって2009年に福岡県久留米市の左近允さんの夫人の実家で発見されました（1月1日は“日本初の点字新聞「あけぼの」創刊記念日”として日本記念日協会から認定されています）。当時、国内には輸入された高価な点字製版機が2台あるのみだったので、左近允さんは点字印刷機を自身で開発したそうです。

左近允さんは39歳で早世してしましますが、「あけぼの」はその後も続き、1917（大正6）年には中村京太郎さん（1880-1964）という方が引き継いで発行が継続されます。中村さんは静岡県生まれ、全盲で、東京盲啞学校（現 筑波大付属視覚特別支援学校）の教諭などを務め、のちに大阪毎日新聞社に入社しました。

中村さんは大阪毎日新聞社内で点字新聞の発刊を提案しました。社内では「そんな儲からんもん、あかん」と反対の声が強かったのですが、社長の「これはいい案だ。損得は問題ではない」の一言で発刊が実現したということです。こうして1922年に「点字毎日」が創刊されます。中村さんは初代編集長を務めました。創刊号は800部でした。同時に「あけぼの」は廃刊になりました（このあたりの詳しいいきさつは分からないのですが）。

点字新聞としては他にも1925年に創刊された「日刊東洋点字新聞」がありました。これはのちに読売新聞社が引き継いだのですが、やがて廃刊になり、現在まで続いているのは「点字毎日」だけです。今年は「点字毎日」創刊から95年になります（「あけぼの」創刊からは111年です）。点字新聞が1紙だけで、週に1回だけ、というのも一般紙とは大きな差がありますが、見えない人のための貴重な情報源として、ますます充実したものになってほしいと思います。

# 虫めがね ～今一番～

わたしがいま一番欲しい物は男物の腕時計である。実は去年の夏にその腕時計を見つけたのだが買いに行く暇がなかったのだ。ゴソゴソ思っているのに気が付けばもう三月も半ばを過ぎようとしている。この辺に時計屋さんとは考えたら向かい側のビルの地下に大きな時計屋さんがあったことを思い出したが次がっかりした。なぜなら実家へ帰る口実が無くなってしまったから。

太田 圭子

## 買いたいもの～



# 今買いたい物もの

スニーカーとかあったが今はない。とにかくリハビリのみ、一にも二にもリハビリ。あえて言うなら機能性のある綿パン。オーバーオールが欲しいと言ったら、履きづらいと言われた。

森 杉



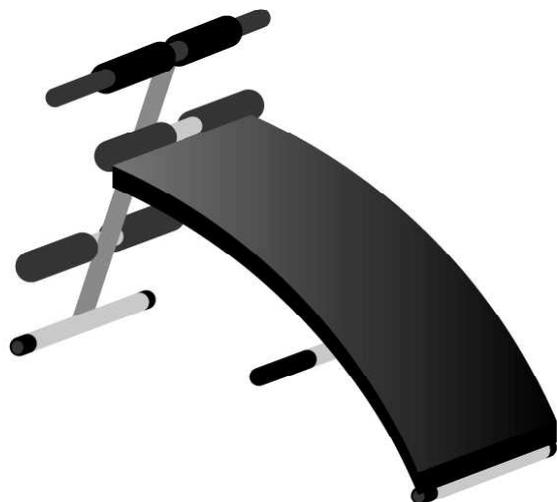
# 今買いたいものは、腹筋マシンの「ワンダーコア・スマート」

（収納型）です。やはり年齢のせいなのかお腹の出っ張りが気になります。収納型ならやりたい時に出して終わったら、しまえばいいのでとても便利だからです。

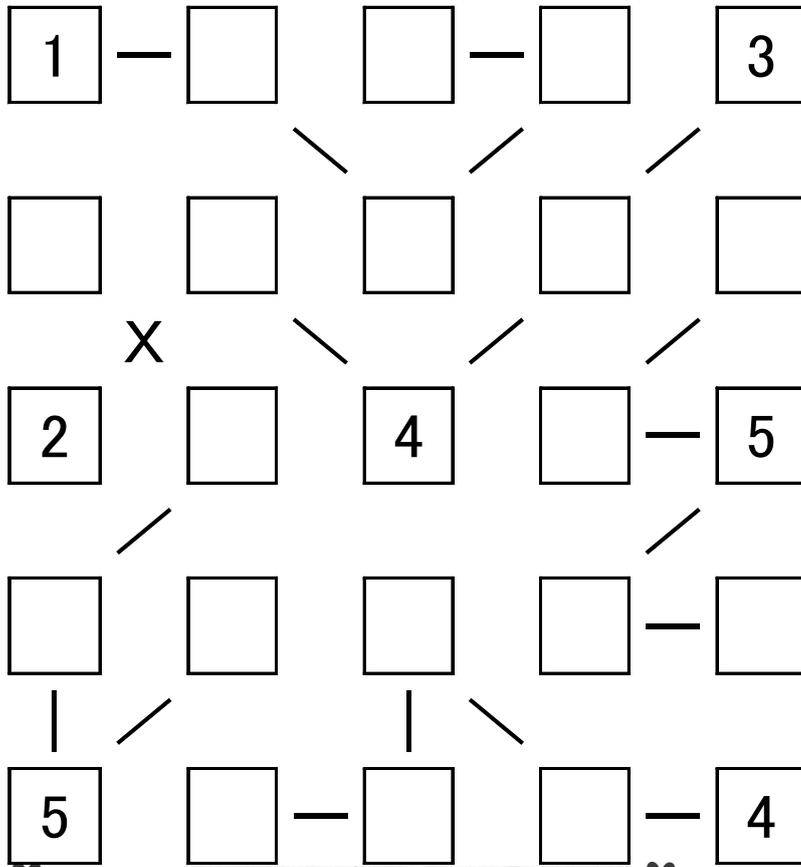
三木 直人



# 今買いたいものは、腹筋マシンの「ワンダーコア・スマート」



# Ryo's エニグマルーム



同じ縦、横の列及びチェーン（一連の繋がり）の中で数字を一度ずつ使います。  
 使用する数字は、一々（二辺のマスの数）

チェインナンプレ



## 夕会便り

二月二十五日（土）【外に出よう】

外に出ようの話し合いをする予定でしたが、メンバーから「風の子の現状的に（職員数などの関係）」や「もしかしたら、引っ越しの準備等で忙しくなるかもしれない」等の意見が挙がり、今年の外に出ようは休止にしようという結論に達しました。

田村 亮彦



## 活動報告

2月は平沼さんが来ました。すごく嬉しかったです。平沼さんが働くようになり嬉しかったです。一緒に働いてると楽しいです。2月はあんまり行事がなかったので仕事ははかどりました。また小出先生が来てくださり個別面談をやりました。

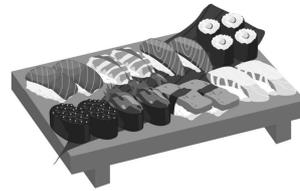
塚田 愛基



# 恵司のつぶやき

大洗、海が綺麗。

とても大きい。



それよりもなによりも、海の幸が大好きだ。

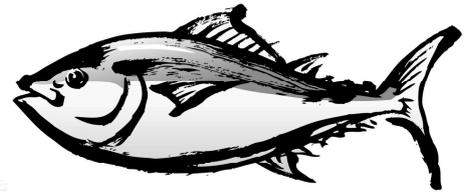
なんてたって俺は元寿司屋の息子だからなあ。

まぐろ、イカ、タコ、ウニ、イクラ



鮭、大盛りごはんまで食べたいな。

特にまぐろは押しメニュー。



刺身でもよし、寿司でもよし

ごはんに乗っけてでもよし。

まぐろ天国ああ、おいしい。

イカさしみ甘いです。

タコも甘い。



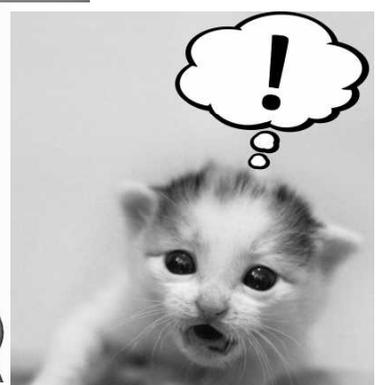
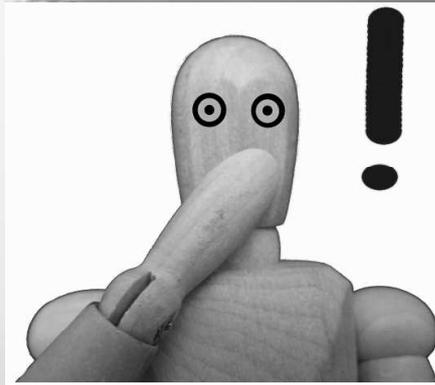
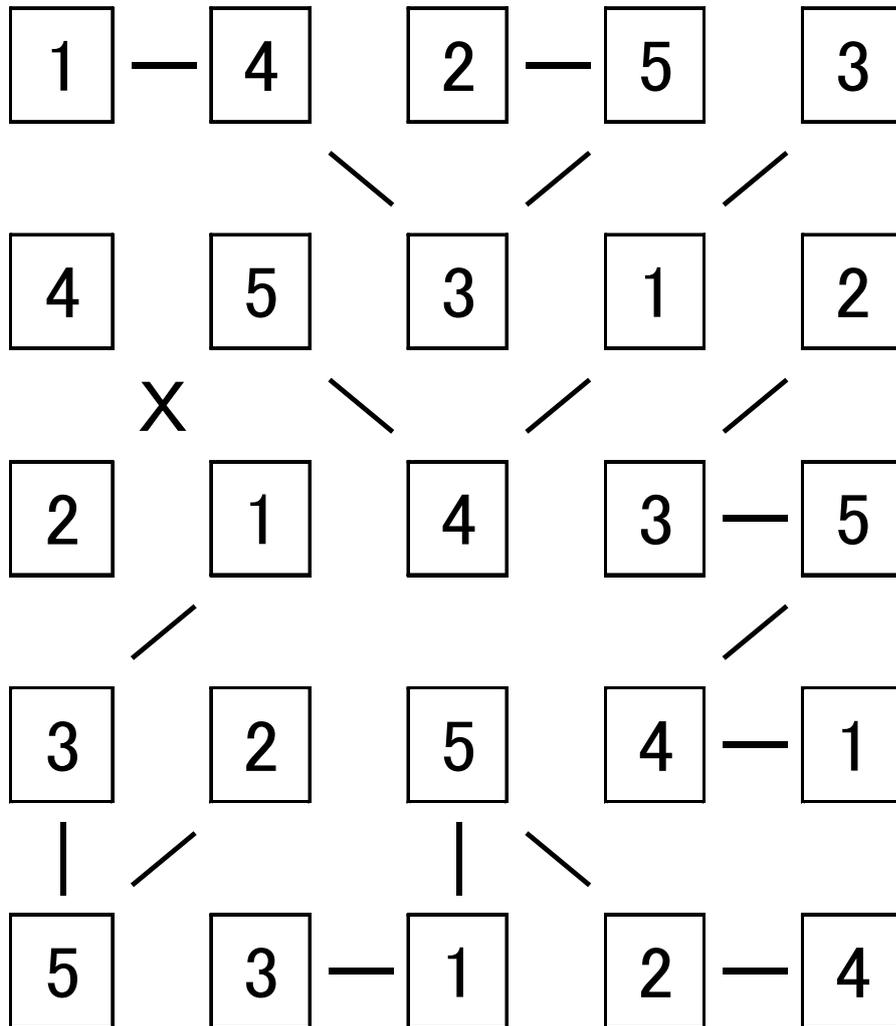
鮭も甘い。

新鮮な海の幸ども待ってろよ。

俺が食いに行っちゃるぜ。



# クイズの答え



# メンバーのつぶやき

僕は今まで色々な、ラジオ、テレビ番組を見てきましたが、テレビが普及するまでの間はずいぶんラジオのお世話になっておりました。特に幼児のころ楽しみだったのは、中村メイ子が出演していた午前十時台の番組、それからこの番組が始まると当時のお風呂屋さんか、がらがらになるほどの聴取率をあげた「君の名は」があまりにも有名です。それからラジオほどアナウンサーの占める比率の大きな職業はないでしょう。特にスポーツ中継を行うアナウンサーは特に大変だと思います。これからもラジオのお世話になる機会が増えると思いますがラジオ局の皆さん頑張ってください。

太田 稔

家に帰ると私は趣味の一環で音楽アレンジをやっています。ジャンルは無いのですが音楽アレンジに大体の時間を費やしています。それとその中でも一番好きなアーティストは96猫という人でエイベックスという会社に所属するアーティストです。私が好きな曲は96猫の「嘘の花火とフリキノダンスとギガンティックOTNと虎視眈々」という曲が一番好きです。嘘の花火という曲は疾走感があり、しっとりとしていて綺麗な曲です。フリキノダンスは激しくてテンポの速い曲です。ギガンティックOTNはテンポの入れ替わりが激しい曲です。虎視眈々は割かしゆっくりな曲です。私がすごいと思ったのは96猫は男声と女声の両方を持っているのですすごいと思いました。

塚田 愛基

私はせんぞくがあります。特撮ヒーローを見るとおさまります。あと、レンコンを食べるといいです。白いご飯の上にレンコンの天ぷらをのせます。たれをかけて出来上がりです。食べると喉が楽になります。

柳川 敬事



## ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ~定価40円~

幸森松田小太  
本村野田  
塚  
高杉恵亮 圭  
史 司彦航子

和柳三塚田太  
栗川木田中田  
頭  
太敬直愛  
郎事人基聡稔

企画編集メンバー

編集人：【高浜生活実習所】  
生活介護、就労継続支援B型

〒108-0075  
東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜3階  
TEL 03(3474)9674 FAX 03(3474)9213

ホームページ：<http://www.kazenokokai.or.jp/>  
ブログ：<http://kazenokokai.blogspot.com>

発行人：障害者団体定期刊行物協会  
東京都世田谷区砧6-26-21

